

平成29年度えひめ英語力向上特別対策事業チャレンジサマースクール実施要領

1 事業の目的

社会、経済等のあらゆる面においてグローバル化が急速に進展する中、国際的な舞台で活躍し積極的に発信する力が求められている。そこで、県内の高校生を対象に、全カリキュラムを原則「英語」使用とするチャレンジサマースクールを実施し、学校を超えた生徒同士の交流を通じて、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

2 事業の概要

(1) 実施方法

事業実施団体を公募し、企画内容を審査・選定の上、委託して実施する。

(2) 実施団体

英語キャンプ等の本事業類似事業について、平成28年度以前に5自治体以上で各回20名以上を対象とする実績を有する者で、委託事業を的確に遂行できると認められるものとする。

(3) 事業の内容

「チャレンジサマースクール」の企画・運営

(4) 委託期間

契約締結の日から平成29年11月30日（木）まで

(5) 委託料 2,600千円以内(消費税及び地方消費税を含む。)

3 実施予定団体の選定

(1) 別紙「平成29年度えひめ英語力向上特別対策事業チャレンジサマースクールに係る企画提案募集要領」に基づき企画提案の募集を行い、提出された企画提案書を基に、別に定める職員で構成する選考委員会で審査の上、最優秀の提案を行った団体を委託契約の候補先として選定する。

(2) 審査基準

実施予定団体の選考は、次に掲げる項目を主に総合的に評価して行うものとする。

① 的確性

- ・提案内容は、英語運用能力に加え、理解する力・伝達する力を伸ばし、コミュニケーション能力を高めるためのプログラムになっているか。
- ・参加者のレベルに応じたものになっているか。

② 安全性

- ・提案内容は、安全性が確保された活動やプログラムになっているか。
- ・緊急時のサポート体制は適切か。

③ 専門性

- ・実際に指導に当たる外国語助手は、外国語習得や外国語教授法のトレーニングを受けているか。また、高校生への指導経験を有する者を配置できるか。
- ・提案者は過去に類似の実績はあるか。

④ 経済合理性

- ・見積金額の算定根拠が正確で、提案内容との整合性があるか。

⑤ 業務推進体制

- ・適切な責任者を配置し、提案事業の遂行に十分な組織体制になっているか。
- ・愛媛県教育委員会と十分に連携することが可能な体制になっているか。
- ・社内体制及び業務に関する社外組織との連絡体制は確保されているか。
- ・日程、作業手順は効率的なものであるか。